

杉原厚吉 先生 立体錯視作品特別展見学報告(2021)

桑山哲郎 (Tetsuro KUWAYAMA) 3D フォーラム

杉原厚吉 先生(明治大学 研究知財・戦略機構特別教授)の立体錯視の作品については、明治大学博物館で2019年7月13日～9月8日開催された展示を3Dフォーラムとして見学、報告を行いました。2021年に入り、立体錯視の特別展示が明治大学の学内関係者向けに行われましたが、2021年7月24日からは展示場所を移動し、一般の人が予約無く見学できることとなりました。7月29日の訪問記を短く報告します。なお2019年の展示の図録「見えているのに見えていない! 立体錯視の最前線」が明治大学博物館から発売されているので、詳細はこの図録を参照ください。



Fig. 1 展示の全景



Fig. 2

展示場所は明治大学博物館(駿河台キャンパス)地下1階、博物館展示スペース前のホールで、6基の透明ケースが整列していました。(Fig. 1)挨拶のパネル(Fig. 2)から、ボタンを押すとモーター駆動で180度回転する「右を向きたがる矢印」(Fig.3)、手で白い球を穴から

挿入することで、「坂道を上る玉」の錯視を体験できる、不可能モーション立体「なんでも吸引! 4方向すべり台」(Fig. 4, Fig. 5)と順次見学は進行します。



Fig. 3



Fig. 9

変身立体は「明治大学ロゴの変身」(Fig. 8), 「桜の花とアゲハ蝶」(Fig. 9), 「丸四角の八角タワー」(Fig.10),と並んでいます。

また展示場所の壁には明治大学が作成した関連のポスター(Fig. 11)もあり, 充実した錯視の世界を体験することができました。

なお, 掲載した写真はすべて著者が 2021 年 7 月 29 日に撮影したものです。

(報告終わり)

■明治大学博物館の展示へのリンク

<https://www.meiji.ac.jp/140th/project/07/>

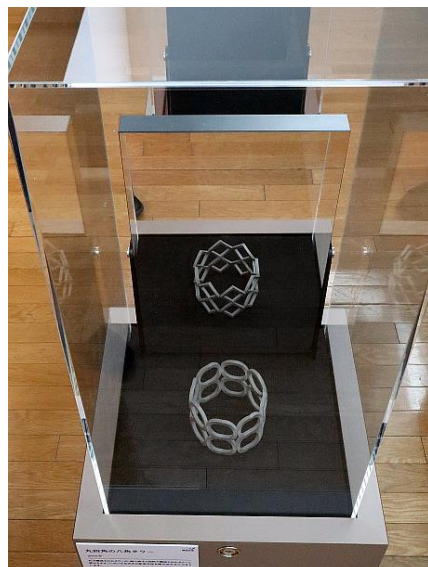


Fig. 10



Fig. 11